



2021年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月28日

上場会社名 株式会社電通国際情報サービス
 コード番号 4812 URL <https://www.isid.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 2021年5月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 名和 亮一
 (氏名) 初木 直人
 TEL 03-6713-6160

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	27,495	4.3	3,726	13.1	3,643	12.0	2,521	22.4
2020年12月期第1四半期	26,366	14.5	3,294	28.8	3,252	26.6	2,060	18.1

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 2,701百万円 (35.9%) 2020年12月期第1四半期 1,987百万円 (11.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	38.70	
2020年12月期第1四半期	31.61	

(注) 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	94,922	60,689	63.9
2020年12月期	97,147	59,587	61.3

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 60,668百万円 2020年12月期 59,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		43.00		49.00	92.00
2021年12月期					
2021年12月期(予想)		26.00		26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年12月期以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	53,300	3.1	6,000	13.9	5,900	14.0	4,000	11.3	61.38
通期	110,000	1.2	12,500	2.6	12,300	6.9	8,300	12.7	127.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年12月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割の影響を考慮しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期1Q	65,182,480 株	2020年12月期	65,182,480 株
期末自己株式数	2021年12月期1Q	17,898 株	2020年12月期	17,818 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期1Q	65,164,617 株	2020年12月期1Q	65,164,742 株

(注)当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

単位：百万円

	2020年12月期 第1四半期累計	2021年12月期 第1四半期累計	増減	前年同期比
売上高	26,366	27,495	+1,129	104.3%
営業利益	3,294	3,726	+432	113.1%
営業利益率	12.5%	13.6%	+1.1p	—
経常利益	3,252	3,643	+391	112.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,060	2,521	+461	122.4%

当第1四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しく推移しました。海外経済の改善等を背景に一部持ち直しの動きはあるものの、まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の再発出など感染症収束の見通しが立たない中、先行きは不透明な状況が続いています。一方、当社グループを取り巻く事業環境については、依然コロナ禍拡大のリスクはあるものの、業務プロセスやビジネスの革新にデジタル技術を活用するDX(デジタルトランスフォーメーション)に対する社会や企業の期待がさらに加速しており、堅調な状況が続いています。

かかる状況のもと、当社グループは、高まる社会や企業のIT投資需要を持続的な成長に結びつけるべく、中期経営計画「ISID X(Cross) Innovation 2021」で掲げた3点の基本方針、「主力事業の進化」「新規事業の創出」「事業基盤の革新」への取り組みに引き続き注力しています。加えて、コロナ禍を起因とする環境変化に迅速に対応するため、足元では新型コロナウイルス感染症への対策の徹底とリモートワークの積極的な活用、関連する各種制度の見直し等を継続するとともに、昨年度スタートさせた「長期事業戦略検討プロジェクト」の活動を通して、当社グループ自身の企業変革にも取り組んでいます。

これらの取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高27,495百万円(前年同期比104.3%)、営業利益3,726百万円(同113.1%)、経常利益3,643百万円(同112.0%)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,521百万円(同122.4%)となりました。

売上高については、金融ソリューションセグメント、製造ソリューションセグメントおよびコミュニケーションITセグメントが牽引し増収を達成しました。利益につきましても、研究開発費や人件費を中心に販売費及び一般管理費が増加したものの、増収効果に加え、コンサルティングサービスおよび受託システム開発を中心とした売上総利益率の向上により、各段階利益で増益となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症については、対策の徹底およびリモートワークの積極的な活用等により円滑な事業継続に取り組んだ結果、当第1四半期連結累計期間においては業績への影響は限定的なものとなりました。

報告セグメント別の売上高、営業利益および営業の状況は、以下のとおりです。

なお、前第2四半期連結会計期間より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、一部の費用の配賦方法を各セグメントの実態に合った合理的な基準に基づき配賦する方法に変更しております。前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法に基づき作成したものを記載しております。

また、当第1四半期連結累計期間より、基幹システムの構築・導入事業を展開する「エンタープライズIT事業部」をビジネスソリューションセグメントからコミュニケーションITセグメントに移管し、マーケティング領域から基幹業務までを統合的に支援する体制を確立しました。なお、前第1四半期連結累計期間および当第1四半期連結累計期間の報告セグメントを、それぞれの比較対象となる期間と同条件で作成することは実務上困難なため、当該情報については開示を行っておりません。

■報告セグメント別売上高および営業利益

単位：百万円

報告セグメント	2020年12月期 第1四半期累計			2021年12月期 第1四半期累計			増減額	
	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益
金融ソリューション	5,990	541	9.0%	6,333	647	10.2%	+343	+106
ビジネスソリューション	5,249	821	15.6%	3,455	309	8.9%	△1,794	△512
製造ソリューション	8,107	972	12.0%	8,220	1,090	13.3%	+113	+118
コミュニケーションIT	7,018	958	13.7%	9,485	1,679	17.7%	+2,467	+721
合計	26,366	3,294	12.5%	27,495	3,726	13.6%	+1,129	+432

■報告セグメント別営業の状況

金融ソリューション

金融機関をはじめ企業における各種金融業務を支援するITソリューションの提供を主たる事業としております。

当第1四半期連結累計期間は、自社製品である次世代融資ソリューション「BANK・R」の販売・導入、およびセールスフォース・ドットコム社のソリューションを活用したコールセンターやCRMシステムの構築ビジネスが拡大したことにより、増収増益となりました。

ビジネスソリューション

会計・人事を中心に経営管理業務を対象とするITソリューションの提供を主たる事業としております。

当第1四半期連結累計期間は、エンタープライズIT事業部をコミュニケーションITセグメントへ移管したことに加え、連結会計ソリューション「STRAVIS」および会計ソリューション「Ci*X」の販売・導入が減少したことにより、減収減益となりました。

製造ソリューション

製造業の製品開発/製造/販売/保守にわたる製品ライフサイクル全般を対象とするITソリューションの提供を主たる事業としております。

当第1四半期連結累計期間は、自動車業界向けを中心に、PLMやCAE等ソフトウェア商品のライセンス販売が堅調に推移したことにより、増収増益となりました。

コミュニケーションIT

マーケティングから基幹業務領域まで企業のバリューチェーンやビジネスプロセスの最適化を支援するITソリューションの提供を主たる事業としております。

当第1四半期連結累計期間は、ビジネスソリューションセグメントからエンタープライズIT事業部を移管・統合した効果に加え、電通グループとの協業による顧客のDXを支援するビジネスが拡大したことにより、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して2,225百万円減少し、94,922百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末時点の売上債権の回収が進んだことによる受取手形及び売掛金の減少、法人税・消費税等の納付、配当金の支払等による預け金の減少等により、前連結会計年度末と比較して2,492百万円減少し、76,303百万円となりました。固定資産は、主に繰延税金資産の増加により、前連結会計年度末と比較して268百万円増加し、18,619百万円となりました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における総負債は、前連結会計年度末と比較して3,327百万円減少し、34,232百万円となりました。流動負債は、前受レンタル料・保守料等である前受金の減少、諸税(法人税・消費税等)の納付を主因とした未払法人税等およびその他の流動負債の減少等により、前連結会計年度末と比較して3,176百万円減少し、31,287百万円となりました。固定負債は、リース債務(連結貸借対照表上の表示科目は固定負債の「その他」)の減少を主因として、前連結会計年度末と比較して152百万円減少し、2,944百万円となりました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、剰余金の配当があったものの、主に当社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した結果、前連結会計年度末と比較して1,102百万円増加し、60,689百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期(累計)および通期業績予想につきましては、2021年2月10日に発表した予想より変更はありません。

※予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,665	3,276
受取手形及び売掛金	24,486	23,356
商品及び製品	131	257
仕掛品	1,757	1,455
原材料及び貯蔵品	25	28
前渡金	11,219	11,618
預け金	36,373	35,095
その他	1,139	1,218
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	78,795	76,303
固定資産		
有形固定資産	4,083	4,009
無形固定資産	4,738	4,664
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,730	10,252
貸倒引当金	△201	△307
投資その他の資産合計	9,529	9,945
固定資産合計	18,351	18,619
資産合計	97,147	94,922
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,778	8,407
未払法人税等	2,595	1,456
前受金	12,605	11,060
受注損失引当金	305	282
その他	11,177	10,080
流動負債合計	34,463	31,287
固定負債		
退職給付に係る負債	52	58
資産除去債務	1,010	1,016
その他	2,033	1,870
固定負債合計	3,096	2,944
負債合計	37,559	34,232

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,180	8,180
資本剰余金	15,285	15,285
利益剰余金	35,832	36,757
自己株式	△30	△30
株主資本合計	59,268	60,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194	243
為替換算調整勘定	102	232
その他の包括利益累計額合計	297	475
非支配株主持分	22	20
純資産合計	59,587	60,689
負債純資産合計	97,147	94,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	26,366	27,495
売上原価	17,388	17,901
売上総利益	8,978	9,594
販売費及び一般管理費	5,683	5,867
営業利益	3,294	3,726
営業外収益		
受取利息及び配当金	8	10
保険配当金	56	20
投資事業組合運用益	-	39
雑収入	4	27
営業外収益合計	69	97
営業外費用		
支払利息	10	9
持分法による投資損失	66	44
投資事業組合運用損	5	-
貸倒引当金繰入額	5	106
為替差損	23	16
雑損失	0	3
営業外費用合計	111	181
経常利益	3,252	3,643
特別損失		
投資有価証券評価損	118	-
特別損失合計	118	-
税金等調整前四半期純利益	3,133	3,643
法人税、住民税及び事業税	1,530	1,627
法人税等調整額	△458	△507
法人税等合計	1,072	1,120
四半期純利益	2,060	2,523
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,060	2,521

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	2,060	2,523
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	48
為替換算調整勘定	△82	129
その他の包括利益合計	△73	178
四半期包括利益	1,987	2,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,986	2,700
非支配株主に係る四半期包括利益	0	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書「第5 経理の状況 1 連結財務諸表等 (1) 連結財務諸表 注記事項(追加情報)」に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	製造 ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,990	5,249	8,107	7,018	26,366
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,990	5,249	8,107	7,018	26,366
セグメント利益	541	821	972	958	3,294

(注) セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	製造 ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	6,333	3,455	8,220	9,485	27,495
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,333	3,455	8,220	9,485	27,495
セグメント利益	647	309	1,090	1,679	3,726

(注) セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、一部の費用の配賦方法を各セグメントの実態に合った合理的な基準に基づき配賦する方法に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法に基づき作成したものを記載しております。

当第1四半期連結累計期間より、基幹システムの構築・導入事業を展開する「エンタープライズIT事業部」をビジネスソリューションセグメントからコミュニケーションITセグメントに移管し、マーケティング領域から基幹業務までを統合的に支援する体制を確立しました。なお、前第1四半期連結累計期間および当第1四半期連結累計期間の報告セグメントを、それぞれの比較対象となる期間と同条件で作成することは実務上困難なため、当該情報については開示を行っておりません。